

地域口腔ケア人材育成のためのリカレント教育事業



事業の目的

出前講座等の実施により、地域の介護・福祉分野の人材や地域住民の**知識・技術の向上**を図るとともに、地域貢献活動を通じて**大学の魅力向上**を推進する。
また、補助事業終了後も継続できる**学習支援体制**を整備する。

① 現状・課題



高齢化の進展で、介護・福祉・地域の場における**口腔ケア・オーラルフレイル・誤嚥性肺炎予防**の重要性が増大



日常の口腔ケアを担う**介護・福祉職員が、専門知識・技術を継続的に学ぶ機会が不足**



地域住民が口腔機能の維持等を学ぶ機会も限定的



② 本学の強み(教育資源)



歯科衛生士・歯科技工士を養成する教育・研究機能と、附属歯科診療所の臨床機能(訪問歯科診療等を含む)

附属歯科診療所と連携して実施



③ 本事業の内容

対象: 介護職員・福祉施設職員・障がい福祉関係者・ケアマネジャー・地域住民など



ア) 地域連携口腔ケア教育

口腔ケア・オーラルフレイル予防・誤嚥性肺炎予防をテーマに出前講座・公開講座を実施。

「附属歯科診療所の専門スタッフ」が、日常の口腔ケアのポイントや実践方法をわかりやすく伝える。



イ) 介護・福祉研修へ参画

介護・福祉分野の専門職団体の研修へ講師を派遣。

(例)「食べ続けるための口腔ケアと観察のポイント」など



ウ) 活動記録・情報発信

学習内容を紹介する動画・活動記録を制作し、本学HP・SNSで発信。復習教材や未参加者の学習機会に活用。

「学生スタッフ担当委員」が運営補助・記録に参加



エ) 講座運営環境の整備

ポータブルモニター、ロールスクリーン、テーブルクロス、お口の健康ファイル(仮称)、活動記録用撮影機材を整備。



④ 目指す姿

地域住民や介護・福祉人材の方々の**口腔ケアに関する学びを、継続して支援できる体制**を構築